

つなげよう つながろう
ふたばのわ

ひと

ふたばは人の

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを
深めるための情報紙です。

自治会・団体の活動紹介や町民同士の
新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。

「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。



- ▶ 未来への力～双葉町の今を知ってもらおう懇親会!～(P2～3)
- ▶ みなさんの元気をお手伝い! 双葉町社会福祉協議会(P4～5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ 町からのお知らせ(P7) ▶ 放射線モニタリング情報・編集後記(P8)

■ 発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■ 企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>



未来への力 双葉町の今を知って もらおう懇親会!

第一回東京開催

平成26年3月7日、東京都渋谷。

双葉の若者6人とふたさぼ（双葉町復興支援員）が、双葉町についての意見交換会を実施しました。福島や東京で復興支援に携わる団体も参加し、双葉の若者たちと語り合いました。若者たちからはふるさと双葉を想うたくさんの方々の意見が出され、彼らのしつかりした姿勢や意見は、今後の活躍を期待させるものでした。意見交換会の後には、簡単な食事会も行い、和気あいあいとした交流会にもなりました。

町に若者の意見をつなげたい

双葉の若者と交流するきっかけになったのは今年1月に行われた成人

式でした。成人式当日、取材をしてきたふたさぼに1人の新成人が声をかけてくれました。

「若者の声を町に届けたいと思っている。町で開催していた世代別会議のような機会があったら次は参加したい」

そう話してくれたのは、成人式実行委員長の前田さんでした。その日をきっかけに、連絡を取るようになり、3月7日、意見交換会開催の運びとなりました。

意見交換会の告知や集客などは前田さんが、意見交換会の内容はふたさぼが企画するといった役割分担をして進めていきました。

双葉のことを 真剣に考える機会に

当日は、「双葉町の今」と「みなさんが双葉町にできること」という



You are the Future of th



東京での意見交換会開催を知った双葉町の若者から、福島県内でも意見交換会を開催してほしいという要望をいただきました。その声に応えるべく、3月29日、福島県郡山市でも意見交換会を開催しました。この会には、ふたばのわ創刊号でもご紹

第二回郡山開催

2部構成で行いました。双葉町復興推進課の西牧主事にも参加してもらい、「双葉町の今」について話をしてもらいました。その後、車座になって、若者のみなさんが率直に感じていることを話してもらいました。「町のことを親身になって考えた、話したりする機会が少ないので、こういった場があるのはうれしい」「町のために何かできることを探していきたい」「今後もこういった会を継続して開いてもらいたい」といった声を聞くことができました。若者たちの心にある大きな力を町につないでいきたい、そう感じさせてもらえる素敵な時間となりました。

介した、標葉せんだん太鼓保存会の今泉香雄副会長も出席され、ふるさとや若者に対する熱い想いをお話していただきました。

◆ ◆
双葉の先輩の想いを聞いた若者は、ふるさとへの想いを強くしました。一歩前へ踏み出す勇気をもつ機会となったことでしょう。

◆ ◆
ふたさぼは、ふるさとの為に何かしたい、そんな想いを持っているみなさんのため、今後もこのような会を継続して開催していきます。想いを実現させるきっかけになりたいと思いますので、ぜひみなさんの声を聞かせてください。





みなさんの元気をお手伝い!

双葉町社会福祉協議会

7カ所の拠点を 通じての福祉相談

みなさんの福祉や介護についての相談やサロン運営を行っている双葉町社会福祉協議会は、現在県内外7カ所に拠点を設置し活動をしています。

福島県いわき市に事務局本部を置き、いわき市南台・郡山・福島・白河・南相馬・加須に出張所やサポートセンターを整備し、みなさんの福祉・介護に関してのサポートを行っています。



町民と地域を橋渡し

震災後、双葉町社会福祉協議会のみなさんは、広域に避難された方々の生活上の様々な相談への対応に奔走されました。各地域に避難している町民から寄せられる相談を、避難先地域の社協や専門施設につなぎます。

「震災後すぐは、広域避難を余儀なくされ、自分たちで直接サービス提供することが困難になりました。地域の社協や専門施設と連携して町民のみなさんの福祉・介護のサポートを行うことができました。地域の多大な協力があったからこそできています」横山事務局次長はそう話してくれました。

サロンを通じて笑顔を提供

社協は相談業務以外にも、生活支援相談員さんによる戸別訪問や、サポートセンターを中心とした交流サロン、温泉地での健康支援事業（リ



会津にこここサロン▲



いわき市小名浜
▼にこここサロン

フレッシュふたば)などを行っています。

各地で行われているサロンでは、脳トレ、健康体操、輪投げなど様々な催しが行われています。また、みなさんが交流できる機会にもなっており、参加者からはたくさんの笑顔がこぼれています。みなさんと一緒に、笑って動いて心身とも健康になれるサロンに、ぜひ一度足を運んでいただければと思います。

避難生活の中での、福祉・介護に関わるお困りごとの相談や、サロン開催についての詳細は、お近くの双葉町社会福祉協議会にお問い合わせください。

写真は各地で行われているサロンの様子です

①本部事務局



②南相馬出張所



③福島出張所



④郡山事務所



⑤白河出張所



⑥サポートセンター ひだまり



⑦加須事務所



- | | | |
|---|----------------------|--|
| ① | 本部事務局 | 〒974-8212 いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1階A号
TEL 0246-84-6725 FAX 0246-84-6728 E-mail futaba.shakyo.510301@onyx.ocn.ne.jp |
| ② | 南相馬出張所 | 〒975-0031 南相馬市原町区錦町1丁目60
TEL 080-5730-1166 FAX 0244-26-6857 E-mail fsk-m@tea.ocn.ne.jp |
| ③ | 福島出張所 | 〒960-0231 福島市飯坂町平野字小田原8-1 第二応急仮設住宅3-17
TEL 080-6290-5941 FAX 024-529-5223 E-mail fsk-fuku@tuba.ocn.ne.jp |
| ④ | 郡山事務所 | 〒963-8681 郡山市喜久田町卸1丁目1-1 南東北総合卸センター2階第3会議室
TEL 024-973-5291 FAX 024-973-5292 E-mail fsk-ko2@topaz.ocn.ne.jp |
| ⑤ | 白河出張所 | 〒961-0074 白河市郭内151郭内第二仮設住宅D2-5
TEL 080-6290-5930 FAX 0248-27-7221 E-mail fsk-shirakawa@wind.ocn.ne.jp |
| ⑥ | サポートセンター ひだまり | 〒974-8242 いわき市南台3丁目1-1 南台応急仮設住宅内
TEL 0246-38-7105 FAX 0246-38-7105 E-mail fsk-iwaki@festa.ocn.ne.jp |
| ⑦ | 加須事務所 | 〒347-0105 埼玉県加須市騎西510
TEL 0480-70-0057 FAX 0480-70-0058 E-mail futaba.shakyo.510301@onyx.ocn.ne.jp |

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



2月23日
双葉町埼玉自治会
設立総会(加須市)



2月27日
なこそ交流スペース
双葉町サロン(いわき市)



3月3日
北幹線第二仮設住宅
パソコン教室
(福島市)



3月4日
サポートセンター
ひだまり
にこにこサロン
(いわき市)



3月6日
老人クラブ
手芸教室(加須市)



3月8日
いわきまごころ双葉会
定例総会(いわき市)



3月12日
グラウンドゴルフ大会!!
(いわき市)



3月14日
リフレッシュふたば
健康教室(南相馬市)



3月20日
いきいきサポートセンター
手芸教室(加須市)

町からのお知らせ

行事

「双葉町ママサロン in なこそ」を開催します

ママ同士でおしゃべりしませんか。
お子さまと一緒にの参加也大歓迎！
なこそその街のお医者さん情報など、暮らしの便利情報をお伝えします。



第1回ママサロンの様子

.....
【日時】4月23日(水) 午前10時～12時
【場所】なこそ交流スペース
〒974-8223 福島県いわき市佐糠町東 1-19-5
【対象】双葉町からいわき市に避難している小学生以下のお子さまをお持ちのママたち
お問い合わせ先：健康福祉課 ☎0246-84-5205

情報

FM放送がはじまりました！

平成26年4月より、双葉町の情報をお伝えるラジオ放送が始まりました。双葉町に関する生活やイベント情報、町の人の声などをお届けします。放送エリアは福島県いわき市内ですが、インターネットで全国どこからでも聴くことができます。



.....
【放送日時】毎週土曜日 午後12時15分～12時30分 【チャンネル】FMいわき 76.2MHz
【インターネット】サイマルラジオ <http://simulradio.info/#toughoku>

給付金

住まいの復興給付金制度が始まりました

東日本大震災により被災した方の住宅再取得や被災した住宅の補修にかかる消費税の負担増加を緩和するための制度で、復興庁による事業です。この制度に関してよくあるご質問とその回答をご紹介します。

Q▶ どんな制度？

A▶ 平成26年4月1日から消費税率が8%に引上げとなりました。それに伴う被災者の住宅再取得や被災した住宅の補修にかかる消費税の負担増加に対して、増税となった金額相当を現金給付することで、被災者の方々の負担軽減を図ろうとする制度です。

Q▶ この制度の目的は？

A▶ 消費税率引上げに伴い、東日本大震災で被災された方の住宅再建に支障がないようにすること、また、復興まちづくりに係る区域指定や宅地造成の時期などの外的な要因による負担の不均衡を避けることを目的としています。

Q▶ 申請方法は？

A▶ 申請は、再取得した住宅、または補修工事が完了した被災住宅が引き渡された後に行うことができます。申請書は、お近くの復興局または「住まいの復興給付金事務局」ホームページより入手できます。

.....
お問い合わせ先：住まいの復興給付金事務局 ☎ 0570-200-246 (有料)
受付時間：午前9時から午後5時まで (土日祝日含む)
URL：<http://fukko-kyufu.jp/>



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成26年3月28日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅... 0.12~0.33
- ②福島市 さくら応急仮設住宅... 0.13~0.14
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅... 0.15~0.44
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅... 0.11~0.24
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅... 0.30~0.39
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅... 0.05~0.07
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅... 0.05~0.06
- ⑧会津若松市 城前応急仮設住宅... 0.08~0.09
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅... 0.12~0.18
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所... 0.27
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎... 0.14
- ⑫白河市 県白河合同庁舎... 0.10
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎... 0.07

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎... 0.04
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎... 0.12
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎... 0.08



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成26年 3月28日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	1.19
新山	新山公民館	—	0.69
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.66
新山	双葉南小学校	—	0.75
新山	双葉中学校	—	1.04
新山	県立双葉高等学校	—	1.32
新山	中央公園	—	0.89
下条	双葉総合公園	2.60	1.58
下条	双葉町役場	—	1.99
郡山	郡山公民館	1.48	0.94
細谷	細谷公民館	2.31	1.19
三字	三字公民館	2.53	1.45
山田	山田農村広場	24.47	13.27
石熊	石熊公民館	12.10	6.86
長塚	双葉町体育館	6.25	3.05
長塚	長塚二公民館	3.26	1.66

地区	地点	平成24年 4月1日	平成26年 3月28日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	3.46
長塚	町西住宅	—	0.74
長塚	JAふたば北部営農センター	—	10.02
長塚	双葉北小学校	—	3.02
長塚	ふたば幼稚園	—	2.49
長塚	双葉駅北側駐車場	—	1.72
長塚	双葉町児童館	—	0.53
羽鳥	上羽鳥	1.89	1.29
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.91
寺松	寺松公民館	3.46	1.94
渋川	渋川公民館	1.48	0.84
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	2.51
中田	中田公民館	0.77	0.47
両竹	両竹公民館	0.54	0.32
浜野	浜野公民館	0.34	0.22

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

南相馬市で行われた社協さん主催のサロンに参加しました。参加者の最年少は3歳の女の子、最高齢はなんと98歳のおばあちゃんでした。普段から家でお裁縫をしているというおばあちゃん。やはり手先を動かすことは長生きの秘訣の一

つと実感しました。高血圧についての健康講話やロコモ体操も行われ、健康について改めて考える機会となりました。相馬地区では町民の集まる機会がほとんどないということで、みなさん再会を懐かしむと共に、今の生活のことなど、会話に花を咲かせていました。サロン終了後のみなさんの晴れやかな笑顔はとても印象的でした。

「ふたばのわ」に参加しませんか？

「ふたばのわ」では「後世に残したい双葉町」をテーマに、みなさんから写真を募集しています。お名前・出身行政区を記載の上、以下の方法でご送付をお願いします。

【郵送の場合】 〒974-8212 福島県いわき市東田町2-19-4
「双葉町いわき事務所内ふたさぼ」宛

【メールの場合】 info@futabamachi-s.com

(写真例)



ご応募
お待ちしております！

